

# 花高同窓会報

発行 秋田県立花輪高等学校同窓会  
編集 花輪高等学校同窓会会報部  
印刷 川嶋印刷株式会社



## 一超直入

同窓会長  
杉江宗祐

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。三年という歳月、過ぎると誠に早いもので、振り返るといろいろな思い出が走馬灯のように蘇るものと思います。

装いを新たにした校舎での、友人との学びやクラブ活動での絆は、社会へ出ても解かれることなく、生涯続くものと確信致しております。

社会は今、グローバルに日々激動しております。その最大の要因はICTの進化に伴う変革であります。日本の産業構造はおろか、私達の日常生活も好むと好まざるとに係らず、この波を受けるものと思います。

皆さんが上級校へ進学或いは就職された時、卒業の時に心に描いていたよりも、そのスピード感ももっと早いものであり、場合によっては大きな壁に突き当たるかも知れません。それをどう乗り越えるか否かで、その人の人生は変わります。

科学がいかに進歩しても、人間社会には基礎となる常識というものが、これを踏み外すようなことがなければ周りの人々とのコミュニケーションは良くいきますし、その基本は花高で充分に体得されており、あとは、新しい課題とどう向き合うかということに尽きると思います。

夢(理想)は、常に追い求めて下さい、そして、全身全霊をその実現に傾けて勇往邁進して下さい。今年の干支は亥。皆さんに「一超直入」の言葉を贈り、祝辞に致します。

結びに、保護者の皆さんにも心より「ありがとう」を申し上げ、同窓会員一同からのメッセージに致します。



## 「先難後獲」

校長 小笠原 友行

記念すべき創立80周年記念式典と校舎改築竣工式から1年余、

花輪の街並みを取り囲む青垣の山々は悠久のたたずまいを見せておりますが、花輪高校に学ぶ生徒たちは、年毎に入れ替わり、その年毎の歴史を地域と自身身に刻みながら校舎を築立っていております。今年も153名が同窓会の仲間入りをしました。景気の回復期にあると言われておりますが、依然として厳しい経済状況におかれております。そのような中でこれから生きていく卒業生には、先輩諸氏を見習い、上級学校で、あるいは地域社会の中でさらなる成長をされることを心から願っております。

今年も地元をはじめ、秋田、仙台、東京などで同窓会総会が行われました。なかでも東京の同窓会は西沢昇先生、谷内成治先生、桜庭肇先生、川又久弥先生、安倍洋直先生の5名の恩師の御出席があり、1000人を超える参加者で盛り上がったと聞いております。恩師と生徒、母校と同窓生の絆の強さを再認識させられました。同窓会のニュースは本校のホームページで紹介しておりますので、是非ご覧

になって頂きたいと思っております。

同窓生の活躍として是非紹介しておきたいのは、香川県で行われた第44回技能五輪全国大会の西洋料理部門で、東屋美穂さん(H17・3卒)が見事金賞を受賞し日本一に輝いたことです。高校ではバスケットボール部で活躍しましたが、盛岡市の菜園調理師専門学校に進学し、現在2年生です。前菜、メイン、デザートまでの6品のフルコースを6時間かけて調理し、味、見た目、衛生面、効率のよさなどを総合評価して順位を決める大会だということです。東屋さんは今回の受賞経験を生かし、将来は本場フランスに行つて更なる飛躍をしようと決意しているとのこと。

また、今年度は「先輩は語る」と銘打って黒澤富蔵氏(S41・3卒)の講演会を行いました。北海道大学大学院から通産省計量研究所(当時)に入所し、主に「長さ」を正確に測定する技術の研究に従事されたこと、世界中を飛び回った経験から対話の必要性、良好な人間関係を築くことの重要性をお話になりました。大先輩の人生論は生徒

たちにとって大変参考になり、これからも様々な分野の先輩から講演をお願いしたいと考えております。

同窓生の皆さんは郷土の先覚、内藤湖南先生の揮毫になる「先難後獲」の扁額をご存じでしょうか。高等女学校時代から校長室に掲げられてあったといわれております。先日、テレビの時代劇の中で、貧しい下級武士が我が子に論語を教えている場面があり、「難きを先にし、獲るを後にす」という一節をかみくだいて教えておりました。毎日扁額を眺めながら生活しているのですが、ドラマの台詞に使われることもあるのかと、この言葉の意味深さを改めて感じた次第でした。易きに流れず困難に果敢に立ち向かう姿勢こそ高等女学校から花輪高校まで、綿々と卒業生の心に根付いた財産であると思っております。同期会、クラス会、またお盆などで久しぶりに故郷にお越しになられる同窓生の皆様も大勢いらつしやることでしょうか。時間がありましたら是非母校に足を運び、校長室に立ち寄り、「先難後獲」の扁額を見て欲しいと思っております。

母校によせる同窓生の思いを大切にしながら、教職員一同、花高の発展に努力していきますので、どうか今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

平成17年度同窓会決算書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

●収入の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
1.会費	2,073,142	2,095,260	22,118	
(1)会費	1,400,000	1,414,500	14,500	同窓生会費
(2)入会金	673,142	680,760	7,618	2851人*120円+ 1411人*240円 ※5/6繰越訂正
2.繰越金	341,854	341,854	0	
3.雑収入	504	21,689	21,185	預金利息、 過年度分会費、 校長より寄付
合計	2,415,500	2,458,803	43,303	

●支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
1.会議費	40,000	12,337	△27,663	
2.会務費	800,000	434,078	△365,922	
(1)旅費	230,000	135,663	△94,337	岩手支部、秋田支部、 宮城支部総会
(2)消耗品費	20,000	0	△20,000	
(3)通信費	520,000	251,045	△268,955	同窓会費郵送代、 同窓会・総会案内ハガキ代
(4)払込手数料	30,000	47,370	17,370	振込手数料、振込用紙印刷 代、イベント管理代振込料
3.事業費	660,000	496,836	△163,164	
(1)印刷費	520,000	379,111	△140,889	同窓会費リスト出力代、同窓 会報印刷代、同窓会費振込 用紙印刷代、イベント管理費
(2)記念品費	100,000	104,890	4,890	卒業生記念品証書ケー ス代、印鑑ケース代
(3)広告費	30,000	12,835	△17,165	高校野球秋田大会広告料、 スキー大会ボランティア広告料
(4)行事費	10,000	0	△10,000	
4.渉外費	100,000	57,000	△43,000	
(1)負担費	10,000	0	△10,000	
(2)渉外費	60,000	57,000	△3,000	岩手支部・秋田支部・宮 城支部総会、花輪高校 送別会・歓迎会会費
(3)慶弔費	30,000	0	△30,000	
5.助成費	450,000	420,000	△30,000	
(1)部活動助成費	350,000	330,000	△20,000	インターハイ団体スキー 参加選手・顧問への激 励金、部活動後援会へ
(2)支部助成費	100,000	90,000	△10,000	同窓会岩手支部・秋田 支部・宮城支部活動費
6.備品費	13,000	12,900	△100	卒業アルバム代
7.積立金	300,000	300,000	0	
8.雑費	7,000	0	△7,000	
9.予備費	45,500	12,570	△32,930	イベント管理費
合計	2,415,500	1,745,721	△669,779	

収入総額	2,458,803	支出総額	1,745,721	差引残高	713,082	定期預金合計	5,720,326
------	-----------	------	-----------	------	---------	--------	-----------

平成17年度 同窓会80周年事業会計決算

●収入の部

項目	同窓会負担額	会員寄付金	差引	摘要
80周年事業分担金	6,000,000	1,453,869	▲4,546,131	

平成18年度同窓会予算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

●収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
1.会費	2,046,329	2,073,142	△26,813	
(1)会費	1,400,000	1,400,000	0	同窓生会費
(2)入会金	646,329	673,142	△26,813	458人*120円* 12ヶ月*0.98
2.繰越金	713,082	341,854	371,228	
3.雑収入	10	504	△494	
合計	2,759,421	2,415,500	343,921	

●支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
1.会議費	200,000	40,000	160,000	総会
2.会務費	840,000	800,000	40,000	
(1)旅費	250,000	230,000	20,000	支部総会
(2)消耗品費	20,000	20,000	0	のし袋、 タックシール他
(3)通信費	520,000	520,000	0	切手、送料
(4)払込手数料	50,000	30,000	20,000	郵便振替手数料
3.事業費	670,000	660,000	10,000	
(1)印刷費	520,000	520,000	0	同窓会報他印刷代
(2)記念品費	110,000	100,000	10,000	卒業生へ記念品
(3)広告費	30,000	30,000	0	年賀他
(4)行事費	10,000	10,000	0	同窓会入会式
4.渉外費	100,000	100,000	0	
(1)負担費	10,000	10,000	0	在京同窓会連合会費
(2)渉外費	60,000	60,000	0	祝賀会等
(3)慶弔費	30,000	30,000	0	祝電・弔電他
5.助成費	450,000	450,000	0	
(1)部活動助成費	350,000	350,000	0	部活動後援会、 激励金
(2)支部助成費	100,000	100,000	0	支部活動費
6.備品費	13,000	13,000	0	卒業アルバム
7.積立金	300,000	300,000	0	定期預金
8.雑費	7,000	7,000	0	
9.予備費	179,421	45,500	133,921	
合計	2,759,421	2,415,500	343,921	

平成18年度 同窓会80周年事業会計予算

●収入の部

項目	同窓会負担額	定期預金解約分	差引	摘要
80周年事業分担金	4,546,131	4,546,131	0	

# 13年ぶり！男女総合アベック優勝

陸上競技部 監督 中 嶋 豊

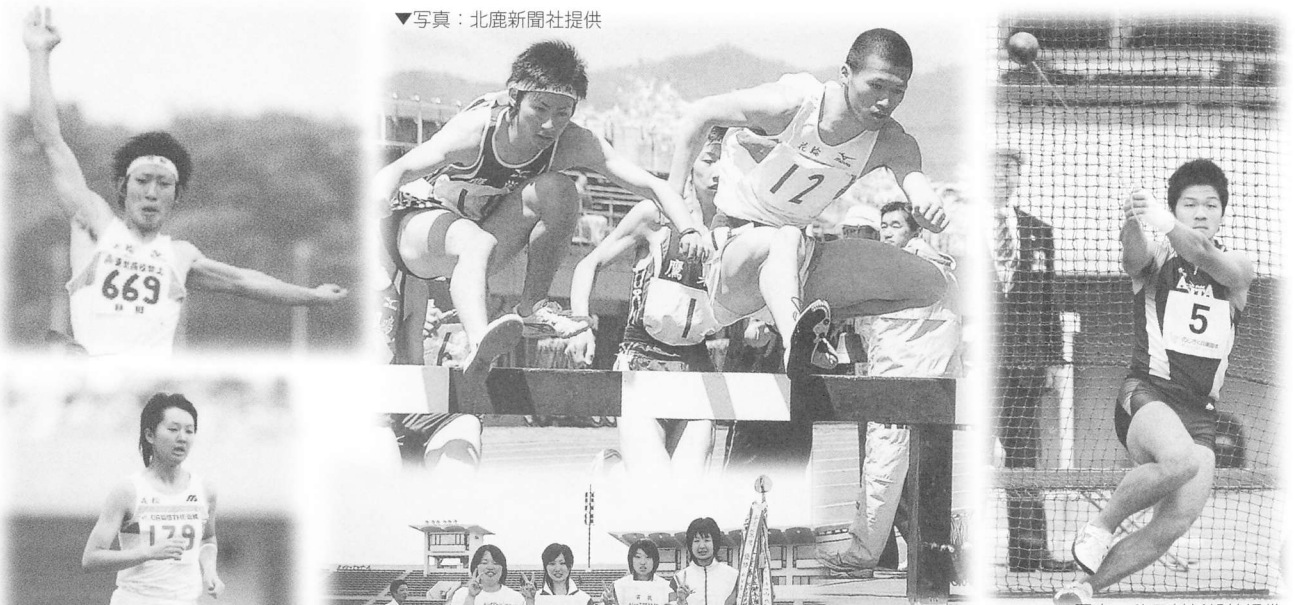
5月に行われた第52回秋田県高等学校総合体育大会陸上競技大会において、13年ぶりの男女総合アベック優勝を成し遂げることができた。男子は2位横手清陵学院と2点差、女子は秋田和洋女子と8点差と、最終日の最後の種目まで激戦を繰り広げての優勝であった。

男子は入賞者こそ少なかったが、ハンマー投・円盤投・砲丸投と投擲種目3冠の児玉、走幅跳優勝・三段跳2位の菅原を軸に、柱となる3年生が確実に得点を重ねた。女子は、キャプテン安保の砲丸投・円盤投2冠を始め、長距離種目では田中、木村を軸に27点と大量得点。他の種目でも中軸となる選手が確実に下位入賞を積み重ね、最終種目のマイルリレーをも2位と大健闘。優勝に花を添えた。

最終日、朝のミーティング。競技準備のため参加できず、男女キャプテンにミーティングを託した。両キャプテンを信頼していたことの裏返しでもある。つい最近知ったことだが、キャプテンはそのミーティングで、「みんなで総合優勝しよう」と涙を流して決意を語ったそうである。チーム全員が奮起し、チームワークと結束力がもたらした優勝であった。

この後行われた東北大会では、10種目で7人が入賞し、インターハイの出場権を獲得した。ここ数年は入賞者が少なく低迷が続いていたが、これを足掛かりに来年度以降も更なる飛躍を目指して精進したい。今後とも暖かいご声援をよろしくお願いします。

▼写真：北鹿新聞社提供



▲写真：秋田魁新報社提供



▲写真：北鹿新聞社提供

# 第五十九期(平成十八年度卒業) 学年幹事より一言

A組 畠山 裕樹

三年A組の教室はいつもにぎやかでとても明るく、楽しいクラスです。また、とても結束力のあるクラスで、運動会や花高祭の時は、全員が団結して真剣に取り組みました。

私達にとって、最高のクラスがいつでも仲良くあり続けられるように、幹事としてクラスのために連絡、調整等がんばりたいと思います。

A組 米田 奈緒

初めて「幹事」という重大な仕事を任され、少々戸惑いごみです。正直、自分にこの仕事が終わるのか不安ですが、花輪高校と一緒に学んだ大切な仲間達と何年経っても心をつなげたままにいられるように、責任を持って様々な計画を立てていきたいと思っています。

みんなそれぞれの夢に向かって歩んでいきますが、これからも三Aの「絆」を永遠に……

B組 相馬 貴昭

幹事という字は物事を司るという意味です。つまり、同窓会の善し悪しは私の手腕にかかっているといつても過言ではないのです。こんな世知辛い世の中だからこそ、同窓会くらいは昔の友と顔を合わせ、昔話を花を咲かし、仕事の愚痴でも出世話でも、なんでも吐き出し、また明日頑張れるような会にしたいと思っています。

同窓会では、私の職場の全国に誇る有名ブランド豚「桃豚」をたくさん用

意思しますので、お楽しみに。

B組 奈良 朋美

花輪高校に入学してから早三年がたとうとしています。例年になく暖冬で雪があまり降らず、過ごしやすい日々だと思っていたのもつかの間、一月中旬、大雪が降り冬季の花輪高校の風景が戻ってきました。それと同時に卒業も近づき、長い学生生活も終わります。しかし、進学する人がほとんどなので、それぞれの学校で夢を叶えてほしいと思います。

三Bはとても過ごしやすいクラスでした。そして笑顔がたえないクラスでした。十年先も、二十年先も、変わらない笑顔と明るさ、そして何より健康であることを願っています。

C組 田中 直人

幹事になりました三年C組、田中直人です。

何か大きな行事で、クラスや花輪高校卒業生として集まる時には、クラスの友人に連絡し集めたいと思います。そして、何かの機会で友人の成長した姿を見る事を楽しみにし、幹事として頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

C組 柳館 佑美

三年C組の幹事を務めることになりました、柳館佑美です。成人式の時やその二年後、三年後にも同窓会を開催し、友人たちと高校の時の懐かしい

思い出話や現在の状況などを語り合い、少しでも疲れた心を癒せるように、そして気軽に参加できるような楽しい同窓会にしたいと思っています。幹事をやるのは、初めてで色々ご迷惑をかけると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

D組 木村 和哉

幹事には、主となって事務を担当することや世話人、まとめ役との意味があると思います。つまり、僕の仕事は同窓会などの時、みんなに連絡をしたり、その他の事務的なものです。このような重要な仕事を任せられたからには、クラス全員に連絡漏れがないような幹事になりたいと思います。

D組 齋藤 喜季

何事もプラス思考で取り組みたいと思います。実際に、幹事の仕事をどのようなのがあるかはまだ分かりませんが、この幹事の仕事を必死でがんばっていこうと思っています。

## 第五十九期 学年幹事

- (平成十八年度 卒業)
- A組 畠山 裕樹
  - B組 相馬 貴昭
  - C組 田中 直人
  - D組 齋藤 喜季

